

令和7年度第4回士別市教育委員会会議録

1. 日 時 令和7年7月7日（月）午後1時30分～午後2時55分
2. 会 場 士別市教育委員会 会議室
3. 出席者
- | | | | |
|-------|---------|---------------|---------|
| 教育長 | 泉 山 浩 幸 | 生涯学習部長 | 丸 徹 也 |
| 職務代理者 | 馬 場 千 晶 | 学校教育課長 | 岡 田 詔 彦 |
| 委 員 | 加 藤 洋 之 | 社会教育課長 | 千 葉 真奈美 |
| 委 員 | 山 田 敦 久 | 合宿の里・スポーツ推進課長 | 徳 竹 貴 之 |
| 委 員 | 多 田 千 鶴 | 学校給食センター | 河 口 光 輝 |
| | | 士別東高校事務長 | 岡 田 英 俊 |

4. 議 件（発言者、議事要旨及び議決事項）

1 教育長挨拶

【各種会議、イベント等について写真などを用いて説明】

- ・7月5日、6日にふれあい広場が開催された。30度を超えるととても暑い日で、観客も大変そうであった。子どもたちもたくさん来ており、市民の憩いの場だと思いながら参加した。
- ・各学校で運動会が行われた。5月31日に糸魚小、朝日中の運動会に参加。糸魚小の応援合戦、朝日中は長縄跳びや3人4脚などが行われた。南中学校では玉入れのルールを変えて行っていたり、閉会式では疲れているのにきちんと整列するなど、中学校のよさが見られた。朝会から閉会式まで保護者等の観客が多く、これが士別の良さであると感じた。
- ・6月7日の上士別小・上士別中学校では、上士別小の応援合戦があった。多寄小では全校綱引き、保護者の綱引きも行っていた。小規模校は地域と一体となった良さがあり、地域の運動会という感じがした。士小では雨の心配からスケジュールを早めており、閉会式に何とか間に合った。南小では、恒例のデカパンリレーを行っていた。
- ・6月14日は温根別小学校の運動会で、地域の運動会と一緒に行っていた。ドローンで写真を撮ったり、閉校記念として行った。ヨサコイでは、卒業生の中学生も踊っている様子が見られた。
- ・オリパラフェスティバル、ホクレンディスタンスチャレンジ、中体連サッカー大会、文化協会主催のチャリティイベントについて説明。
- ・新聞記事の紹介で、教員の給特法の改正、部活動地域展開に対する財政支援、中学校が来年度から35人学級、修学旅行で貸切バスの予約がとれないという問題について説明。
- ・2027年3月に告示予定の学習指導要領の改訂について説明。

2 議事について

○泉山教育長 進行

議案第8号 令和7年度第1回士別市総合教育会議の開催について、説明を求める。

○丸部長

「総合教育会議」について、資料に基づき説明。

協議事項1点目、「令和7年度士別市教育重点について」の中で「士別市まなびフォーカス」につ

いて教育長から説明する。

2 点目、「士別市小中学校適正配置計画の進捗状況について」では、温根別小学校の閉校について、朝日地区義務教育学校について説明する。

3 点目、「公共施設マネジメント基本計画における施設のあり方について」では、教育委員会が所管する 7 施設について、7 月中に 2 回目のまちづくり懇談会を実施予定である。

以上、概要を説明したが、この後の総合教育会議で詳細を説明したいと考えている。

○泉山教育長

このあと午後 3 時からの総合教育会議について、この議案のとおり進めてよろしいか。

(全員了承)

○泉山教育長

議案第 9 号 士別市教育委員会所管事務各種審議会委員の選任（委嘱）について、説明を求める。

○千葉課長

士別市中央公民館運営審議会委員について、すでに承認をいただいた委員の方 1 名が辞退された。今年度は 1 名欠員のまま 9 名とし、来年 4 月 1 日に欠員補充を行いたい。

朝日公民館運営審議会委員には、朝日町スポーツ協会から 1 名推薦があった。

○河口所長

学校給食センター運営委員に各団体等から推薦をいただき、10 名の委員となっている。

○千葉課長

士別市文化賞審議会委員に、社会教育委員から 2 名の推薦があった。

また、本日現在、文化賞に 1 名推薦が上がっていて、受付期間が終了後、8 月の教育委員会会議でお諮りしたい。

○泉山教育長

各種審議会委員の選任について説明があったが、このとおり決定してよろしいか。

(全員了承)

3 その他

◇士別東高校舎のあり方について

○岡田事務長説明

士別市公共施設マネジメント基本計画に基づき、今年度から東高の校舎の存続や校舎のあり方について検討を進める。5 月 29 日開催の学校運営協議会で、校舎のあり方の検討の説明では、移転する候補先がある中で具体的な検討をすると説明。移転候補先は明らかにしていないが、教育施設のストック財産としている。

今後の予定は、校内で先生方の意見を聞き、校舎の存続のあり方についてまとめ、7 月下旬のまちづくり懇談会で報告していきたい。また、随時、学校運営協議会に経過報告や協議を進め、地元住民等に対しても合意形成を図りながら進めていきたい。

○馬場代理

上士別地区で移転するのであれば、地域との関係性が継続できると思うが、ほかの地区へ移転となればその地区との関係だけになるのか。バスで移動して、これまでどおりの関係性が継続されることもあるのか。地区が変われば学習環境にも影響が出るし、通学にも影響が出ると思う。

○加藤委員

上士別地区の方々は、どのくらい認識があるのか。

○岡田事務長

まだ周知はしていない。学校運営協議会の中での話になっている。議会での質問の答弁で周知されたところ。士別市として校舎について考えていることは示せたが、具体的にはまちづくり懇談会等で上士別地区の皆さんにお示ししたい。

○加藤委員

上士別地区の「きたごりんファーム」では、農業学習ですごくいい経験をさせていただいている。それがどうなるのかという懸念はあるが、子どもたちがきちんと学べる環境が引き続きできるのであれば問題はないと思う。

○馬場代理

現在、上士別地区で稲作やその収穫、野菜の加工など、いろいろな体験をさせていただいている。ほかの地区へ移転となれば、校舎も今より新しくなり、環境も良くなり、子どもたちも快適だと思うが、東高の特色である部分が失われなければいいと思う。

○山田委員

東高の歴史はずっと上士別にあって重みはある。施設的にお金がないから移転というのは地域の人たちにとっては難しい話だと思う。

最後は、誰がどういう言葉で責任を持って進めていくのか。そこは教育委員会が主体的になってできるわけでもないし、市役所的に誰がイニシアチブをとって進めていくのか。

○岡田事務長

学びの場として通っている生徒のことを考えると、今の施設というわけにはいかない。上士別地域にとっても、思い出のある場所で大事な施設だと思う。地域の皆さんには丁寧に説明する必要があるし、どこが主体的になっていくかという部分は、設置者は士別市であることから、重要な説明については市長自らが出向いて説明をする。学校側から説明する部分は、教育委員会が先頭に立ってやらなければならないと考えている。

○山田委員

これまでの地域への貢献という部分をなおざりにならないように話をしていかなければならない。ほかの地区への移転となれば、上士別地域に対する配慮、考えを市長が前面に出てしっかり伝えてもらわないとならない。丁寧な説明を心掛けてほしいと思う。

○岡田事務長

市長、教育長とも確認しているが、東高校が実施している教育課程や学習活動、農業体験については高く評価いただいております、校舎が移転したとしても継続してほしいとのことである。

まずは教職員に確認し、続けていくためにはどうするかを考え、それを実現するためには、例えば地域連携コーディネーターに協力を得ながら、これまで同様の活動ができるようなことも考えていきたい。

○泉山教育長

私としても東高は残したい学校であり、残すにはどうしたらいいかという選択肢の1つに、移転という話が上がっている。これから進めていく中で、ご意見いただきながら慎重に進めていきたい。

◇士別市学校給食持参ご飯アンケート結果報告書について

○河口給食センター所長説明

週2回の持参ご飯について、保護者の意見をアンケートを実施した。その回答としては、現状維持が59%、回数を減らしてほしいが5.4%、持参ご飯を辞めたいが35.6%という結果。今後の検討の基礎資料としたい。

◇当面する今後の日程について

○丸部長説明

○泉山教育長

議案第10号 令和7年度士別市奨学生の選定については、秘密会とする。

午後2時50分 秘密会を宣する

午後2時55分 秘密会を解く

午後2時55分、会議の終了を宣した。

この会議は、会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため署名する。

署名者

泉山浩幸

会議録調整者

岡田 詔彦